

スキトレ企画書

作成日： 2024 年 5 月 28 日

校名： 美しが丘校 企画者： 本田

活動名：声の大きさを知ろう	
本活動の着眼点	
場所や状況に応じて声の大きさを調節することが苦手な児童を対象に本活動を立案	
本人支援 5 領域とのつながり	
<input checked="" type="checkbox"/> 健康・生活 <input checked="" type="checkbox"/> 認知・行動 <input type="checkbox"/> 運動・感覚 <input type="checkbox"/> 言語・コミュニケーション <input type="checkbox"/> 人間関係・社会性	
生活上の困り感 (実施者に確認して頂きたい内容)	目的・趣旨(OT 的視点)
・ 声の大きさの調節が苦手 (場所や状況をよみこめない)	・ 自分の傾向に気づく ・ 日常会話の維持・改善 ・ 日常生活動作の維持・改善
活動の概要(実施者に確認して頂きたい内容)	
【場所】 各校活動室 【所要時間】 約 10 分～ 15 分程度 【人数】 2 人～ 【対象者】 ・ 7 歳～、または、ルールが理解できる児童	
活動の進め方	
【進行方法・ルール】 1) 説明 声の大きさの種類をはじめに説明する。(ひそひそ声、近くの人と話す声、元気のいい声、遠くの人と話す声) 2) ゲーム 1：練習 場所が書かれている用紙を提示する。場所に応じて子供たちに同時に話してもらう。話してもらう内容は 1 文で事前に伝える。 例) ルールの説明の後、「言ってもらえる言葉は『昨日のご飯何食べた?』です。場所は～です。それでは始めます。」	

スキトレ企画書

3) ゲーム2: 実践

2人ペアでグループ一斉に行ってもらおう。質問の紙を1人だけ渡す。職員の開始の合図で、全グループ一斉に2人のうちの1人が質問の紙を読んでもらう（声の大きさは守る）。もう1人の紙をもらってない児童は質問に答えてもらい、声の大きさの種類が何か当てる。（相手に合わせて声の大きさを守る）。

声を大きく言うグループ、声が小さいグループとあり聞き取りづらいと思うが声の大きさは守ってもらおう。その後、役割を交代してもう一度行う。

【役割：進行・補助・+α】

進行と補助1人ずつ、またはそれ以上

スタッフの着目点

- ・声の大きさの種類を意識できているか
- ・声の大きさを意識して取り組めているか
- ・声の大きさを適宜アドバイスする

活動を行う上での注意点

児童同士でトラブルは起きていないか

予算

0円

その他

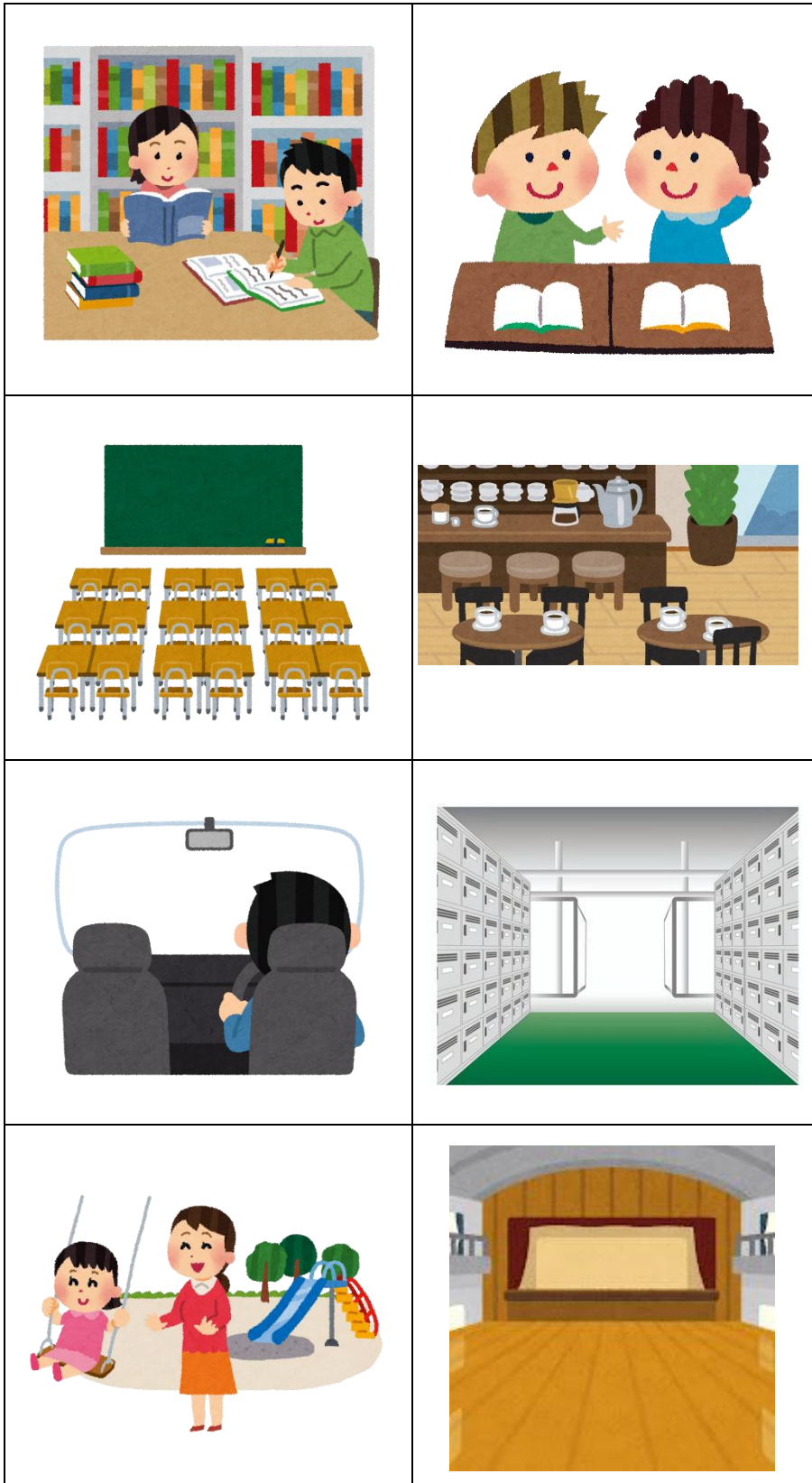
未就学児の場合は声の大きさの表に合わせて適切な声を出してもらったり、場所が書かれている紙に合わせて適切な声を出してもらったりなど工夫を行う。

スキトレ企画書

こえの おおきさ



スキトレ企画書



答え

図書館：虫の声
 隣同士の人：ひ
 よこ
 教室の中：犬
 レストラン：犬
 車の中：ひよこ
 下駄箱：犬
 公園：犬
 体育館：犬

スキトレ企画書

質問

昨日の夜ご飯何？
すきなうたは？
すきな食べ物なに？
すきなくるまなに？
すきな色なに？
何のスポーツすき？
今日のテレビ何がある？